

ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

議会だより

第75号

2014年5月7日発行

3月定例会

議会報告会 4会場で開催 ②～⑤

予算審査Q & A ⑥～⑧

こんなことが決まりました ⑨～⑩

一般質問に6議員が登壇 ⑪～⑬

意見書4本を可決 ⑭

町民インタビュー～聞かせて～ ⑮



▲放課後児童クラブ「学校のあとは子ども館に行ってみよう！」

議会報告会開催

松岡地域センター



町民センター子供会室



中和地域センター



西和地域センター



多数のご意見ありがとうございました。

4月8日～9日に、松岡地域センター・三和地域センター・中和地域センター及び町民センター子供会室において、議会報告会を開催しました。

議会報告会では、議会活動の報告として、各委員会から報告をさせていただき、その後参加された皆さんからご意見等を伺いました。

参加者数は4会場合わせ80名でした。

議会報告会での報告内容

■総務福祉常任委員会

- ①総合庁舎非常用発電整備について
- ②消防機材の整備（通信司令一元化・消防車更新など）について
- ③芳生苑の施設整備について
- ④町立病院の機材整備（医療機器・遠隔読影）について
- ⑤健康診査受診率について

■産業教育常任委員会

- ①地域資源活用交流施設「ふれあいのもり」について
- ②農村体験交流滞在施設エココテージについて
- ③カントリーエレベーター改修事業について

■議会広報委員会

- ①紙面の内容やレイアウトについて

■議員報酬及び定数調査特別委員会

- ①議員報酬と議員定数について

質疑応答

エコロジー

Q 利用状況は。予約はあると聞いている。(3月末時点で、延78名利用)

A 1年を通してどうかという検証はしなければならぬと思う。

Q 町民でも申し込めば使えるのか。

A そういう施設だということをおわかっていなかった。

Q 利用できる。2月1日からオープンしている。



▲エコロジー

Q 建設費が2棟で7300万円だが、補助事業だからといって高過ぎないか。

A 一般住宅と異なり、地熱を利用した冷暖房システムや太陽光発電システム等、特殊な設備もあり、地盤の関係で外構工事にも経費がかかり、高額になったと認識している。

カントリーエレベーター

Q まだ米が残っている

A このことだが、工事にとりかかり完了するのはいつになるのか。

A 間に合わせてもらわないと困る。

Q 現在の米の在庫は6月までにすべて空ける予定と聞いている。

A 7月以降に工事に入り、秋までには間に合うように行なう。

Q 改修にあたっての町とJAの負担割合は。

A 総事業費は3億1590万円かかるが、約3億9000万は過疎債を借りる。そのうち7割は国から補てんされ、残り3割分を町とJAで負担する。

Q 過疎債の対象外の部分も町とJAの折半になる。

Q 過疎債って？
法律で定められた「過疎地域」として該当になる市町村が借りられる借金のこと。



▲色彩選別機

Q 平成28年までの契約で一部内容を見直すようだが、これからも修繕が出てくると思う。それについても過疎債なのか、それとも違う

A 財源を充てるのか、内容はある程度決まっているのか。

Q 今後の修繕は双方協議のうえ決めることになる。

郷土資料館

Q 前町長の意向で100年事業の中で郷土資料館の建設計画があった。新町長になって、中止なのか、一時止めたのか内容を詳しく説明願う。

A 分村100年記念事業検討委員会、郷土資料館基本構想検討委員会では、前町長が委嘱をした方々が検討をして、意見は出されている。郷土資料館については、魅せる資料館にするのか、保存する資料館にするのか目的によつて建て替えか増築なのか、議会でも懸案事項ではあり、100年にあわせて方向性を議論していた。

A 町民がつよい、魅力ある資料館にすることが基本であり、町民の意見も聴きながら我々もこれから議論して行く。

Q ただ、27年度の100年事業からは切り離し、限られた財源で事業の優先順位があると聞いている。

A 今までの内容がゼロにはならないが、議会として皆さんの意見を取り入れながら議論を進めて行く。

ふれあいのもり

Q ふれあいのもりは夜桜まつりからスタートするが、桜はあるのか。

A 道路沿いに少ししかない。今後桜の森を作るための移植計画がある。

◇防災関係

Q 役場の非常用発電機の整備は停電時における備えだと思いが、災害時には停電も考えられ、冬期間においては暖房が必要となる。避難場所である各自治会館に発電機を整備できないか。

A 災害時における本部機能を確保するため役場の非常用発電機を整備した。
町では災害時に建設協会から発電機等の非常用機器も借り入れてきたよう協定を結んでいる。

Q 防災無線のデジタル化は考えているのか。

A 市街地区は聞こえづらいという問題もあるが、行政からは対応できる機種がなく時間がかかっている。

街灯の節電

Q 一般家庭も節電を求

められているが、冬期間除雪していない町道の街路灯に電気がついていて、電気が無駄である。

A 担当課に確認します。

○総務課への確認
年間契約しかなく、冬期間だけ契約解除することができない。
消灯するには作業が必要となることから、今後、地元自治会とも相談し対応したい。

◇町内の人工透析

Q 和寒から町外へ人工透析に通っている方が多数いる。JRやバスで通うことを考えると、町立病院で人工透析ができるようにならないのか。

A 透析患者へは交通費の支援をしている。整備するのが一番だと思いが、人件費や機材の出費などもあり、難しいと思う。
意見があったことは

理事者や病院には伝えていく。



◇芳生苑

Q 芳生苑のような施設を、国では設置を認めないような話を聞いているが、低所得者はいくところがないため、維持したり増設したりしてもらいたい。

A 新たに建設するとなると、個室でなければ補助対象とならないが、個室だと入居費が高くなる。

国民年金の方はほとんど入れなくなってしまうため、今の施設を改修しながら長く使っていく必要がある。

◇議員報酬及び定数

Q 選挙がないから減らすというのは間違いだ

と思う。議員が悪いのではなく、有権者が悪い。だから遠慮する必要はない。

A 2回無投票だったが、平成19年に2人、平成23年に3人と、この2回で定数10のところ半数が入れ替わっている。十分な新陳代謝が得られており、新しい議員が新しい意見を述べられている。

Q 前回、前々回と選挙にならなかった。

やはり町民からの支持を受けて選ばれるべきであり、来年は現状維持とのことだが、人口減少もあるので、来年の結果も踏まえて、再度協議願いたい。

A 来年の結果を含め、人口減少の割合、また近隣町村とのバランスも考慮しながら再度議論はしなければならぬ。

我々も町民の審判が必要であり、議会活動

をより一層活発にし、和寒町のために努力したい。

今後、少しでも多くの方が立候補して選挙が行なわれるよう、皆さんの意見も聴取しながら議論していきたい。

◇議会運営全般

Q 報告会について、説明資料も豊富で良いと思うが、時間的にもう少しゆっくり説明を聞きたいと思った。

A できるだけきめ細かにやりたいと思うのでよろしく願います。

議会報告会での行政に対するご意見等は、取りまとめしたものを報告し、対応等を要請していただきますのでお知らせします。
また、紙面の都合により、内容の簡略化やすべての質疑応答が掲載できておりませんがご容赦願います。

議会報告会アンケート（抜粋）

Q 議会だより「ワットサム」紙面の内容やレイアウトなどの感想・意見は？

ワットサムは議会の内容がわかりやすく、理解しやすい。

表紙をカラーにすると良い。表紙写真を公募すると良い。

高齢化に伴い、文字が見つらくなっている人が多いと思う。文字を大きくしてほしい。

カラーでなくてもよい。関心を持って読む人は読むのだから、カラーでなくてもきちんと目を通してくれると思う。

配布時期は、町の広報と重複しない方が良い（20日の発行にしては？）

研修を通して改革しながら頑張ってください。

Q 議会活動の報告はどうでしたか？

町の事業のことばかりでは報告会の意味がない。

意見交換の時間をもう少し多く。

既にメディア等で流れている内容に若干の説明を加えた内容で深みがない。

資料が専門的で理解しにくい。

難しい言葉をわかりやすい言葉に直している。

まあまあわかりやすかった。定数は人口減もまだ続くと思うので一考を。

人数が少なくなれば報酬は据え置きでも良いのでは。

Q 町議会に対してのご意見・ご要望はありますか？

議員定数削減のメリット・デメリットがわかりづらい。

インターネットをもっと活用してほしい。

要支援者の予防給付、特養の要介護度3以上の条件等、町民の方の福祉への関心を高めて欲しい。

町長を先頭に、議員も「和寒を元気にする！」を実践してほしい。和寒をもっとPRして欲しい。

議員の定数と報酬は今のままで良いと思う。

議会を傍聴したが、質問者・答弁者とも、内容がわかりづらいことが多い。

無投票対策として、支持率を出してはどうでしょうか。

住み良い和寒町になるように頑張ってください。

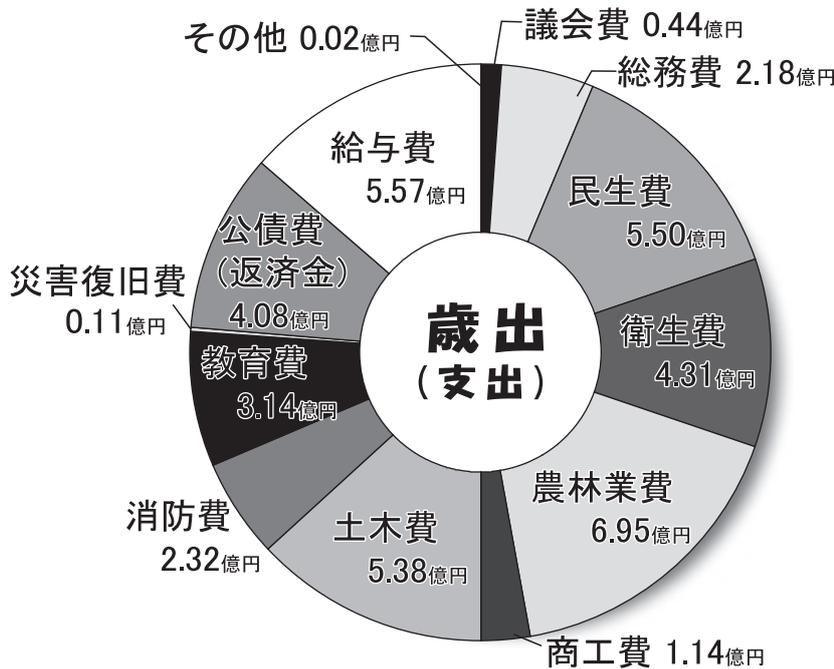
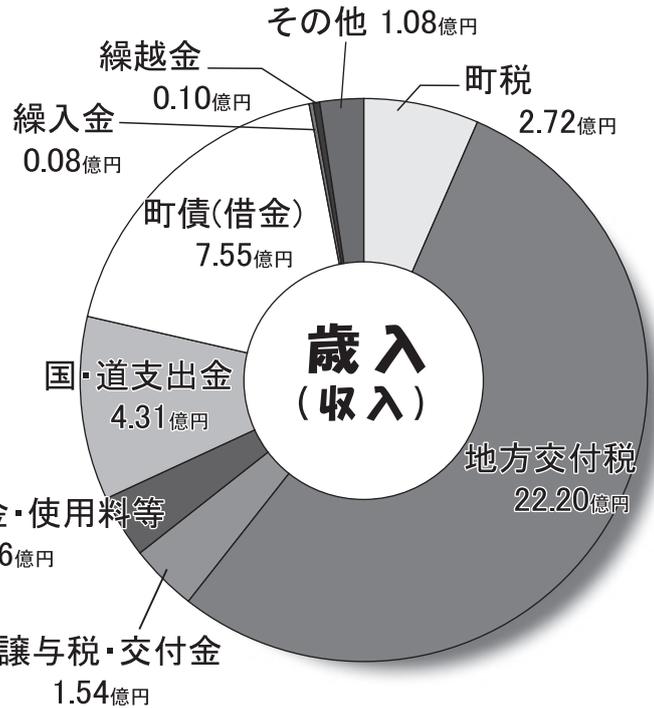
議会に対する町民の関心を高めるために、努力してほしい。

議会報告会は年1回でも良いと思います。

大規模改修事業 担増にならない整備を

平成26年度は※骨格予算として編成されていますが、一般会計では41億1400万円の計上となりました。

カントリーエレベーターは操業開始から13年が経過し、糞摺機や色彩選別機の損耗が激しく、早急な改修が必要になります。当初予算に計上されたい

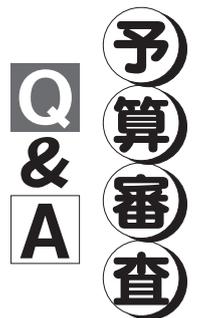


Q 除雪サービスの受託者の除雪状況について、社会福祉協議会と受託者で話し合う場はあるのか。

A 除雪開始前の10月に双方で話し合う場を設け、作業を確認している。シーズン終了後に受託者と打ち合わせを確認し、次年度につなげていくよう社協と打ち合わせしていく。

Q 防災無線の関係で、検討しているとのことだったが、その後は。

A 屋外スピーカーは現在開発されているものをメーカーと協議している。戸別受信機の関係も、詳細の部分を決めて、できるだけ早く対応したい。



平成26年度予算

一般
会計

カントリーエレベーター 事業費 3億1590万円 利用者負

一般会計 41億1400万円

町民1人当たりの額は

約 **110万円**
(前年対比3500円増)

※1人当たりの金額は、平成26年3月末現在の人口3,740人で計算しています。

議会費	1万1789円	1.07%
総務費	5万8221円	5.29%
民生費	14万6991円	13.36%
衛生費	11万5255円	10.48%
農林業費	18万5918円	16.90%
商工費	3万609円	2.78%
土木費	14万3731円	13.07%
消防費	6万1963円	5.63%
教育費	8万3936円	7.63%
災害復旧費	2957円	0.27%
公債費	10万9092円	9.92%
給与費	14万8976円	13.55%
諸支出金・予備費	562円	0.05%

※骨格予算
首長の選挙を控えた自治体が最低限必要な経費で編成する予算。

その他に計上された主な事業として、自治会館改修事業、町道バリアフリー化工事、町営バス運行事業(デマンド運行)などがあります。
予算審査特別委員会での質疑を抜粋して掲載しておりますのでご覧ください。



▲カントリーエレベーター

A 毎年度の要望量に基づくものになると思われ、大きな影響は発生しないと考えている。

Q カントリーは大きな起債を活用することになるが、他の事業に影響しないか。

A 火葬温度は、ばい煙等の基準から、一般的に800度の設定になっている。

Q 委託業者の中で研修を行っている。

A 葬斎場の管理人の研修は行なっているのか。火葬温度が高過ぎて遺骨が残らないという話がある。

Q 小地域ネットワーク事業は、なぜ75歳まで引き上げていくのか。

A 以前、70歳以上に引き下げる方向もあったが、自治会内で「まだ若い」との声もあり、毎年1年ずつ引き上げていく形とした。

Q 食用かぼちゃ種子助成について、販売対策、技術対策をどのようにすすめていくのか。

A 今年度収穫量は予定通りには行かなかつたが、3・5tの製品量のうち約3tは販売先が決まっている。残りは、各種イベント、PR活動、製品研究に使われる予定。

栽培技術は、上川農試等と連携して、栽培適期の作業を研究会などを通して知ってもらい、平均収量が上がるよう情報提供をしていきたい。

Q 原木から木質チップを製造する際、乾燥しすぎていると聞いているが状況は。

A 2〜3年前の材を使用しているため、乾燥し含水率が下がってしまつ。新しい材を混ぜて含水率を調整している。

Q 農村生活体験事業の5名の定員確保に向けて進めてほしい。

A 現在3名の応募があり、5名の確保に向けて努力したい。

Q 活性化センター運営負担金の負担割合は、町とJAの7対3は変わらないのか。

A 活性化センター立ち上げ当初は所長、研修生2名分の賃金を町が支出し、残り経費を7対3としていたが、24年度からは、全て7対3の割合となり、JAからは、今後も継続していくと回答をもらっている。

Q 農産加工センターで肉を使いたい要望があるが出来ないのか。

A 肉製品となると施設改修などが必要であり、許可を取得することは難しい。

Q 間伐・皆伐事業で、木質チップの搬出予定量は。

A 木質チップとして活用する材は、間伐材264t、皆伐材168tで432tの見込みとなっている。

Q 住宅・公園の街灯のLED化はどれくらい進んだか。

A 本年度から新たに行動なつもので、公住敷地等で36箇所、600万円を見込んでいます。

Q 若草団地の改修計画はどこまで進んでいるか。

A 現在95世帯に聞き取り調査を行っており、結果集計し今後どう進めるか検討していく。

Q 学校給食費負担金は、消費税が増税となり料金改正とのことだが、5%でいくべきでは。

A 士別に委託している中で関係する町村が足並みをそろえて8%にした。今年度すべて8%でいくとしたわけではなく、政策的に6月までにどうするか判断する余地はあると考えている。

Q 未来を拓く人づくり推進事業の補助内容の見直しについて、対象者全員参加出来るように、9割補助を10割にできないか。

A 補助額、研修先が台湾で良いのか、継続していくのか、更に広げていくのかも含め検討していきたい。

Q 図書館の蔵書の状況、今後の購入方針は。

A 平成27年度末をめぐり最大8万6千冊になる予定。今後の利用傾向を見ながらニーズに対応した蔵書構築をしていきたい。

Q 病院の報償費が32万2千円増となっている理由は。

A 臨時医師の当直回数を12回分増でみている。休日の日直は7万5千円、平日の日直は外来診療があるので8万5千円と改正した。日数の増、単価増、さらに今年、旭川医大より研修医が7名くるのでその分の当直費用で増になっている。



▲農業活性化センター「農想塾」



個人住民税

均等割500円増の3500円

平成35年までの10年間

防災施策の財源として



東日本大震災を教訓に、防災のための施策に要する費用の財源を確保するための臨時の措置として個人町民税の均等割を500円増額する改正を可決しました。

【条例例の一部改正】 (7名賛成可決)

道路法に基づき徴収している道路占用料について、今回の消費税率改正に伴う文言整理の改正を可決しました。

条例など

【道路占用料徴収条例の一部改正】 (全員賛成可決)

【森林整備計画の変更】 (全員賛成可決)

上川北部地域森林計画の変更に伴い、対象樹種の追加とその他文言整理の変更を可決しました。

【上川町村等公平委員会共同設置規約の一部改正】 (全員賛成可決)

構成団体の変更による文言整理を可決しました。

【北海道市町村職員退職手当組合規約の一部改正】 (全員賛成可決)

構成団体の変更による文言整理を可決しました。

人事

【教育委員会委員の任命】 (全員賛成同意)

教育委員会委員に沓澤昭一氏を任命することに同意しました。

任期は前任者の残任期間で平成26年9月までとなっております。

3月定例議会(第1回定例会)は、平成26年3月7日から20日にかけて14日間の会期で開催しました。7日は、町政執行方針・教育行政執行方針が述べられ、教育委員会委員の選任の他、条例制定や補正予算など12件の議案審議をしました。また、平成26年度各会計予算が上程され、予算審査特別委員会に付託となりました。

3月定例議会のあらまし

14日には一般質問を行い、6人の議員が登壇し、行政に対する質問をしました。17日からの予算審査特別委員会において議案を審査し、最終日の20日に本会議を再開し、付託された議案を原案通り可決しました。更に意見書4本を可決し、閉会しました。なお、今期定例会の傍聴者は延23人でした。



沓澤 昭一 氏

補正予算

各会計の増減額は別表のとおりです。

【一般会計補正予算】

(全員賛成可決)

事業費確定に伴う精査による減額がされてい

ます。

また、農業基盤整備促進事業として暗渠排水の工事費増、起債や寄附等の増に伴う剰余分を、財政町政基金へ積み立てるなどの増額補正を可決しました。

【国民健康保険特別会計補正予算】

(全員賛成可決)

医療費の実績減に伴う療養給付費・療養費・高額医療費等の減額補正を可決しました。

【公共下水道事業特別会計補正予算】

(全員賛成可決)

工事の執行残による減

額補正を可決しました。

【後期高齢者医療特別会計補正予算】

(全員賛成可決)

過年度の繰越金を一般会計に戻すための増額補正等を可決しました。

【介護保険特別会計補正予算】

(全員賛成可決)

保険事業勘定で、サ-

ビス利用実績の増減に伴い、給付費を調整する等の補正を可決しました。

【町立和寒病院事業会計補正予算】

(全員賛成可決)

人件費の精査や、患者数の変動による薬品費や検査費用等の減額補正を可決しました。

平成25年度各会計補正予算一覧表

(※ 1万円未満切り捨て表記)

会計別		補正額	補正後の額
一般会計		3577万円	44億3276万円
特別会計	国民健康保険特別会計	△2534万円	6億2689万円
	公共下水道事業特別会計	△100万円	1億6096万円
	後期高齢者医療特別会計	261万円	6241万円
	介護保険特別会計 保険事業勘定	71万円	5億2721万円
町立病院事業会計	歳入	△1422万円	4億7055万円
	歳出	△1442万円	4億7544万円

各会計の主な補正内容

(※ 1万円未満切り捨て表記)

一般会計		国民健康保険特別会計	
○財政調整基本積立金	6150万円	○療養給付費(一般)	△ 1500万円
○ふるさとまちづくり応援基金積立金	190万円	○療養費	100万円
○町立病院事業会計繰出金	1299万円	○高額医療費(一般)	△ 200万円
○農地・水保安全管理支払事業負担金	△ 252万円	○後期高齢者支援金	△ 150万円
○環境保全型農業直接支払交付金	△ 487万円	○高額医療費拠出金	△ 500万円
○農業基盤整備促進工事	1585万円	○保険財政共同安定化事業拠出金	△ 200万円
○林業専用道開設工事	△ 665万円	後期高齢者医療特別会計	
○未来につながる森づくり推進事業補助	156万円	○保険料等負担金	△ 70万円
○道営林業専用道整備事業地元負担金	△ 112万円	○一般会計繰出金	331万円
○7号道路改良工事	△ 3020万円	介護保険特別会計保険事業勘定	
○4条通りバリアフリー化工事	△ 112万円	○介護保険システム改修業務委託	68万円
○土別地方消防事務組合負担金	△ 325万円	○サービス計画給付費	220万円
○償還元金・利子	△ 764万円	○居宅介護サービス給付費	△ 333万円
公共下水道事業特別会計		○高額介護サービス等費	40万円
○下水終末処理場建築電気・設備改修工事	△100万円	○特定入所者介護サービス等費	70万円

中原浩一議員



問 3つの重点目標についての具体的な説明を
答 政策の方向性に沿った事業を検討

問 大幅な農業政策の見直しについての捉え方は
答 安定的な農業に結び付く制度の円滑な運営に努める

問 25年度計上の100年記念事業委託等の執行状況は
答 優先順位を踏まえ記念事業に取り組む

重点目標の本身は

町長が町政執行方針の中で掲げた3つの重点目標の具体的な説明を。

奥山町長

1つ目の「安心して暮らすことのできるまちづくり」は、介護や医療を含めた福祉施設の充実は大きな課題と認識しており、町立病院という地域医療を支える中核施設により保健医療福祉の環境が守られているので、今ある環境を支え高齢者福祉等を守りたい。

2つ目の「産業育成による活力あるまちづくり」は、農業政策の転換により農業者は将来に不安を持っているので、的確な情報提供と農業経営に傾注できる体制づくりで基幹産業の農業を守っていく。3つ目の「ひとが輝くまちづくり」は、子

供達が夢や希望を持って学校現場の環境を充実させ、教育現場から学校経営まで幅広い知識と経験をもつ方を新たな教育委員として選任した。

生涯学習やスポーツ・文化活動も各団体と円滑に連携して推進に努める。

○再質問

少年高齢化が進み、2035年には本町の人口が2027人と試算されている。農業や福祉を核とした雇用の創出を重点的にやっ

○再質問

ていかなければならない。介護保険料の軽減や子育て支援としての保育園の幼児の預かり条件の緩和の要望等に耳を傾けて施策に取り組んでもらいたい。

施策の活用を

国の農業政策の見直しの捉え方は。

米の生産調整目標配分を平成30年度から廃止するなど、交付額の変動が予想されることから、農業関係団体と連携を密にして、安定的な農業経営に結び付くよう制度の円滑な運用に努める。

○再質問

今般の政権では、農業の成長を阻害していると批判されている農業委員会や農協を見直すべきといった議論が出されているが、競争力だけでは農業は成り立たない。地域を守ってきたのは農業委員会・農協であった。「農地維持支払」も町一本化して簡単な手続きで農業者全員に交付されるような仕組みを。

奥山町長

報を集め国がどう進めようとしているのか見据える必要がある。

分村100年は100年記念事業委託や郷土資料館基本構想策定業務委託などの執行状況は。

奥山町長

一旦足を止めて事業の見直しとしては、「分村」という意味には良くないイメージがあり、母村にも配慮すべきという考えがある。事業量や人的体制も整っていないことから判断した。政策課題と優先順位も勘案しながら検討する。

郷土資料館は、昨年10月に補正予算をお願いし、委託業者からイメージ図や展示計画等の基本構想案が提出された。町長の答弁

の通り27年に固執しない考え方で広く意見を聞きながら対応していく。

○再質問
各小学校跡地に点在している地域の歴史資料の保存状況が悪い。先人の人たちが築き上げてきた苦労・歴史を将来の子供達に継承していく事業はやってもらいたい。

奥山町長
そういったことは十分勘案しながら、優先順位がどうなのかという点も全体を見渡した中で、限られた予算を有効に使いたい。

奥山町長

米の生産調整目標配分を平成30年度から廃止するなど、交付額の変動が予想されることから、農業関係団体と連携を密にして、安定的な農業経営に結び付くよう制度の円滑な運用に努める。

奥山町長

一旦足を止めて事業の見直しとしては、「分村」という意味には良くないイメージがあり、母村にも配慮すべきという考えがある。事業量や人的体制も整っていないことから判断した。政策課題と優先順位も勘案しながら検討する。

奥山町長

そういったことは十分勘案しながら、優先順位がどうなのかという点も全体を見渡した中で、限られた予算を有効に使いたい。

郷土資料館



▲郷土資料館

問 市街地の交通弱者の対応は 答 安心して住んでいける 町にしていくため前向きに検討



石田利美議員

基本料金の補助を

4月から全路線のデマンド方式の実証実験が実施され、10月から本格的にデマンド方式が運行されることで、交通弱者にとって良いことだと思う。

しかし、市街地でも買い物・病院などへ行く交通弱者が大変多いと思う。

そこで、民間が運営されている営業車の基本料金の補助をし、利用しやすくしては。

奥山町長

利用者の利便性やバスの効率性など、実用化に向けての効果的な結果が得られたことから、4月からは全路線を対象としたデマンド方式による実証実験運行を実施し、10月から本格運行を開始したい。一方、市街地区の交通弱者の対応は、現在、

身体に重度の障害を持つていてる方に対して、社会参加等を促すことを目的としたハイヤーの初乗り運賃48回分を助成する制度を実施している。

今後、さらなる高齢化により、買い物などに不便をきたす方々が増加すると考えられることから、交通弱者の方々に対する支援も、検討する必要があると考えている。

○再質問

「検討していく」と言うが、進め方について聞きたい。

奥山町長

デマンド方式が広がることによって、民間の営業範囲が狭まることといった危惧も懸念も示されている。

今、活躍している土別ハイヤーは、市街地や市街地以外も含めて、特に病院・買い物など、

色々な場面で活躍している。

検討の仕方は、関係者の意見も踏まえて、さらに今後、障がい者の方たちだけでなく高齢者たちが、冬場などで足元が悪い中で買い物・病院に行く時に転んで怪我など心配することもある。

我々としても前向きに検討し、高齢者が安心して住んでいける町にしていかなければならないと考えている。

○再質問

町営バスが、デマンド方式になり車両の検討はしているのか。

奥山町長

私も、35年前の高校時代に町営バスに乗り、たくさん通学生、利用者があった記憶がある。

現在のバスの状態はどうなのか、車両が古くなれば、次に更新するときほどの程度の規

模がいいのか、実感として乗ってみることがいいと思う。
近いうちにバスに乗り、私が考えている、現場に足を運ぶことを心がけながら取り組んでいく。

デマンド方式って？

交通手段に不便している方の要求に合わせ、乗りたいときに電話等で予約し、乗り合わせでバスやタクシーが運行する形態です。



▲デマンド運行の利用者の様子

中道眞佐義議員



問 和寒町は元気ないですか？

答 元気あるけれどさらに元気に

問 本町農業に対する率直な感想は

答 特産品の生産により体力はある。もっとPRを

やはり元気ない？

町長は選挙中から、折に触れて「町外から見ていると、和寒町は元気がない」と発信されていたが、町長に就任された現在もそうお考えか。

奥山町長

道職員時代、ふるさと和寒町からの情報は他自治体と比較し、少ないと感じていた。「もっと元気に」という思いが私を駆り立てた。

実際、帰って来てみると、地域を元気にしようとしている若手農業者や商工関係者、福祉関係者などたくさんいる事に気づいた。

今後はこういう人たちと対話をして、外への情報発信に汗をかいて行きたい。

○再質問

確かに情報発信は重

要だが、その方法と効果は。

奥山町長

和寒町は頑張る人が出て、財政力もありしつかりした町であるが、外にはそう見えてはいないと思う。

和寒町が元気なく見えるのは、頑張っている人が目立たないからだ。

本町出身の道職員等と連携しPRするのもひとつの方法ではないだろうか。

和寒町に来て教育にかかわりたいと思う先生方、あるいは、この町で医療に携わりたい



▲若者のつどいの場

と思う医師が増えるような環境作りをするところ、子供たちや町民にとってプラスになると考える。

行政は常に先頭に立つのでなく、町民の後ろに立って支える役割を担うべきである。

本町農業の感想は

今後の政策展開の基礎となるであろう、本町農業の現状に対する率直な感想は。

奥山町長

出稼ぎしなくても通年で農業している事は町外からも高く評価されている。

南瓜や越冬キャベツなど特産品を中心とした農業体系を作ってきた農業者の苦労には心から敬意を表したい。

しかし、農業を取り巻く環境は厳しさを増している。

急ぐべき対策が何か十分に検討していく。

○再質問

農業で大切なのはまず、人づくりそして土づくり、その結果が作物づくりと連鎖していくと考える。最近の国の施策はそのような農業現場の思いとかけ離れたものになっていると思うが。

奥山町長

国の施策には地域実情を考慮しているのか疑問に思うものが多いし、上意下達的であり農家の不満もあると思う。

そのような状況下で育ててきた特産品の南瓜、キャベツは町も共に汗をかき事でままだ農家を充実させる事ができると思う。

さらに、近隣の町と連携しながら成長させるという事も考えられるだろう。



▲キャベツ掘り作業

○再質問

国は農家子弟以外の新規就農者を確保したいようだが、我が町の実情を考えたとき無理があると思う。

農協が中心となり農家の子弟等がスムーズに継承できるような施策をとってほしい。

その為にも若手農業者の話を積極的に聞いてほしいが。

奥山町長

機会をつくり若手農業者の考えを吸収したい。

農協塾についてもよく調べ、より良い環境をつくりたい。

問 ふるさとまちづくり応援寄附金の有効活用は
答 幅広い応援を期待できることから前向きに検討



金谷浩幸議員

問 老朽化した農業施設の維持管理費に対する支援の考えは
答 農家経営の状況も勘案しながら対応

寄附する側、される側、双方にメリットが出るシステムの構築を

我が町ではホームページで、わざわざふるさとまちづくり応援寄附金を募り、地域農業の発展や子育て支援、高齢者福祉の充実、教育の振興などに役立てたいとしているが、この制度を活用し、寄附金のお礼など特典の拡充によって、町の発展、地域産業の振興は図れないか。

奥山町長

ふるさと納税は地方から各市町村に納税した場合のお返しにあたる特典品が、ランキング形式でインターネットに取り上げられ、メディアの扱いも自治体間の競争をあおるような報道もされるなど、本来あるべき「ふるさと」を応援する」という

趣旨から、離れてきている状況も一部うかがえる。

しかし、そのアイデアによっては、和寒町を知り興味を持ってもらうきっかけになるほか、幅広い応援につながることも期待できることから、寄附金のお礼にあたる特典の拡充を、前向きに検討していく。



▲ホームページ「ふるさとチョイス」

○再質問

和寒の特産物は、カボチャ、キャベツとかが有名。新聞、テレビ、ラジオ他、我々の知らない場面でも、色んなところで色んな人が取り上げてくれている。

また、去年から始めているペポカボチャも、全国で真剣に取り組んでいるのは和寒町だけでアドバンテージを持っている。

その効果を、地元の人間が有効に活用しないのはもったいないのではないか。

奥山町長

ふるさと納税も、他の町は上手にその情報発信につなげている。かねて、和寒町の町民有志の中で、郵便局と連携をされて、ふるさと納税の物を送っていたといった話も聞いている。町民の有志の方が頑張れるような環境をつくるのも私の仕事。

町の情報発信のツールとして検討していく。

農業基盤・維持管理等に支援を

近年、老朽化や自然災害による破損等によ

り補修工事箇所が増えている。

今後予定している工事は、巨額な事業費になり、地元負担も大きなものになる。

さらに、国営造成施設の管理については、国の事業である国営造成施設管理体制改革促進事業で、一定程度、管理している改良区の経費が賄われている状況だが、平成29年度以降の事業見通しが立つておらず負担が増える懸念があり、増大する維持管理負担に対する支援をすることを考える。

奥山町長

てしおがわ土地改良区が維持管理を行っている農業施設は、計画的な改修や補修、あるいは国の補助事業等により施設が適正に維持されてきており、本町独自の支援策を講ずることにより、農家負担を軽減している状況に

ある。

今後、多額の費用を要する改修工事が必要な状況にあると認識している。

このため、これまでの取り組みや農家経営の状況も勘案しながら改修にかかる負担の在り方について検討していく。

国営造成施設管理体制整備促進事業は、平成26年度をもって3期5箇年を終了し、その後、3年の期間延長が確定しているが、以降の見通しが立っていない状況にある。

本事業の対象となっている農業施設の維持管理費用は多額であり、全費用を土地改良区や町が負担していくことは極めて難しいことから、今後は、土地改良区と連携しながら必要な情報収集に努めるとともに、状況に応じて国や道に対し要望していく。

佐々木広行議員



問 芳生苑施設の充実は

答 福祉政策全体を通じて充実していく

問 孤独死対策は

答 安心して暮らせるような方向で進める

問 高齢者施設や配食業務は

答 高齢者施設なり、配食サービスなり考えていく

芳生苑の改修は

人口問題研究所が過去に発表した和寒町の推計人口が西暦2035年で2027人。現在、高齢化率は約41%であり、過疎化による人口減・少子高齢化は歴然である。

奥山町政初年度であるが「和寒をもっと元気な町に」とマニフェストに掲げている。

その中で高齢者福祉は大切な施策、福祉サービスの充実や新たな高齢者施設の検討も必要となると述べている。芳生苑について、今年度は年次計画に基づき廊下及び食堂の床張り替えを予定しているが、建設以来38年も経過する施設であり補修が必要と考えるが、入苑者及び家族からの要望は把握しているのか。

奥山町長

町長に立候補するに

あたり「ふるさと和寒町をもっと元気に」をスローガンに、高齢者福祉施策の充実も公約に掲げてきた。

この間たくさんの方々から高齢化を踏まえた福祉施策の充実について、ご意見をいただいている。

芳生苑については社会福祉協議会とも十分協議しながら対応していく。

入苑者や家族からの要望については、サービス計画書の送付時に要望やご意見など記入していただき、その内容を施設運営に活用している。

一人住まいの方に
対して

一人住まいの独居老人世帯も増加しており、最近孤独死が目立つが対策はどのように考えているか。

奥山町長

一人暮らしの高齢者に対し、希望する方にヤクルトを配達したり自治会に安否確認を依頼している。

今後さらに新聞や郵便などライフラインの関係事業者とも連携するなどセーフティネットの網目を細かくするような対策に取り組む。

○再質問

本町には緊急通報装置の設置事業があるが、申込者の審査が厳しいと聞いている。本来の趣旨に沿って取り進めてもらいたい。

奥山町長

町民が安心して暮らせる町をつくるのが私の役割であり、その方向で考えていく。

高齢者住宅の
充実

町長は高齢者施設の

検討と述べられているが、私もそのとおりだと考えている。

現在、高齢者住宅として「かたくり荘」があるが、このような施設は更に必要ないか、また、配食をしてくれるような機関は必要では。

奥山町長

「かたくり荘」は平成18年1月に供用開始したものである。当初は9戸全室に入居されていたが、一時

期8戸の状態が続き本年4月から9戸となる。

社会福祉協議会の事業として利用者負担をいただきながら、毎週火曜日の夕食について配食を実施している。

町としては、社会福祉協議会や福祉サービス事業所などの関係者から、必要な福祉に関する意見も参考にしながら、高齢者住宅や配食サービスについても検討していく。



▲配食サービスの一例

虻川政義議員



問 給食費の助成を考へては 答 負担軽減は大切だが 他の支援とも考へ合わせ検討

基本料金の補助を

給食は学校教育の環境で、食育である。学校給食法は、食事について正しく理解と望ましい習慣を養うことや、健康の増進、食料の生産配分・消費について正しい理解に導くことを目標に定めている。

町長の町政執行方針でも触れているが、将来を担う子どもたちが夢や希望を持ち、誰もが生きがいを感ずる環境を整備していくことは、まちづくりの中でも大変重要であると言われている。

そこで、学校給食費の無料化を目標に当面給食費の助成を考へては。

奥山町長

子育て支援策として保護者の負担軽減を図ることは大切だが、現在、中学生までの医療

費の無料化や保育料の低減のほか、教育、保育環境の整備充実に取り組んでいる。

今後、優先して取り組むべき政策課題を十分に検討する中で、給食費の助成、無料化についても、関係する教育委員会と協議を重ねながら検討していく。

○再質問

学校給食は教育であり、人間づくりの原点にあるということが基本である。したがって、教育としての給食は、単におなががいっばいになればよい、というだけではない。

生命の尊さと大切さを学びとっていく場でもある。おいしかったという感動は、多くの人の手をおして、農産物や動物など、食材の命をいただいているという壮大な営みを、しっかりと身に付けることでもある。

生産と労働と調理の科学を身につけることは、同時に日本の食文化を理解していくことにもなるのだと思う。

そういう観点からしても、学校給食に対する助成が求められる。

奥山町長

子どもたちの夢や希望、こういったものを広げていくための環境づくりも私の責任だと思っているので、色々な角度から物事を考えた中で検討したい。

○再質問

若い人も住みよい、魅力あるまちづくりとして「こつこつという制度があるんなら、和寒に住みたい」とか「引越もししよつとしていたけども、もう少し住んでみようか」という思いが生まれてくるような対応が大事だと思う。

他の自治体の長で、親の負担軽減に直結す

ること、何よりも町の子どもたちへ行きわたる支援にしたかったという理由で無料化へ踏み切った事例がある。

また、未来を担う子ども達を、町全体で育てていくという理念のもとで、義務教育の経費を保護者からの負担を求めずに、行政として公費で賄っていた事例もある。

給食費に消費税の転嫁をしないように町で頑張ってほしい。

奥山町長

政策の優先順位というのは何かといったときに、私がその3本柱の中の、子育て・教育も、大きな柱であるということも踏まえて、総合的に考へて検討していく。



▲学校給食の様子

みんなの声を国政に

公益に関わる次の4件について、議員から意見書案が提出されました。
第1回定例会において審議の結果可決され、関係行政省庁に提出されました。

消費税増税中止を求める意見書

提出者 虻川政義
採決結果 可決（全員賛成）
提出先 内閣総理大臣

（要旨）

安倍政権の経済施策により景気指数向上へ効果が出ていると報道されているが、多くの国民は「景気回復」を実感していない。

住民の暮らし、地域経済、地方自治体に深刻な打撃を与える消費税増税を中止することを強く求める。

特定秘密保護法の廃止を求める意見書

提出者 中原浩一
採決結果 可決（全員賛成）
提出先 衆議院議長、参議院議長 他

（要旨）

特定秘密保護法案は、強行採決直後の世論調査でも、国民に支持されていないことが明確であり、強行採決に抗議するとともに、政府は国民の声を真摯に受け止め、「特定秘密保護法」を廃止することを強く求める。

地方自治体の臨時・非常勤職員の待遇改善と雇用安定のための法改正に関する意見書

提出者 金谷浩幸
採決結果 可決（全員賛成）
提出先 総務大臣、厚生労働大臣 他

（要旨）

臨時・非常勤の多くの職員が恒常的業務についているが、待遇や雇用について保護する制度が整備されていないため、下記の事項を要望する。

1. 非常勤職員に期末手当や退職手当の支給を認めていない地方自治法を改正すること。（他2項目）

国益無きTPP合意に断固反対し国会決議の遵守を求める意見書

提出者 金谷浩幸
採決結果 可決（全員賛成）
提出先 衆議院議長、参議院議長 他

（要旨）

国においては、TPP交渉に関する情報開示を徹底し、交渉過程の透明性を確保するとともに、農林水産委員会における国会決議を遵守すること。また、国会決議を守れない場合は、TPP交渉から脱退することを強く要望する。

あわせて、日豪EPAなど全ての国際貿易交渉において、例外措置として重要品目の関税を維持するという基本方針を堅持すること。

議会事務局の 人事異動

4月1日付の人事異動により、議会事務局長が変わりました。

よろしく申し上げます

松村 辰彦

（出納室から）

お世話になりました

村井 清一

（保健福祉課へ）

◆各意見書の詳細については

ホームページ上で公開しています。

<http://www.town.wassamu.hokkaido.jp>

「トップ画面」

⇒「和寒町議会事務局」

⇒「議会結果」

町民インタビュー 聞かせて



平成25年の農村生活体験事業実習生として大阪から来町され、現在は和光クリーンに勤められ、エコテージで受け付け事務をされている上野彩さんに、お話を聞かせてもらいました。



❖ 和寒に来たきつかけは？

以前の仕事をやめようとインターネットで次の仕事を探していた時に、その他の欄を見ていたら実習生のことが出ていました。

知らんところで、やったことのない事に挑戦したかったので農業を選びました。

❖ 農作業はどつでした？

やってみて、食への考え方が変わりました。今までは食へのこだわりが無かったし、料理もしたことが無かったです。

この野菜をどう料理したらおいしくなって、無駄がなくなるのか考えるようになり、自分の中では大きな変化になりました。どんだけ一つ一つの中に人の気持ちが入っているのか、汗も働いた時間もひっくるめて、この野菜に凝縮されているんやなーと思いました。外で体を動かしている

と、気持ちよくストレスフリーでした。風や雨の臭いを感じたりしました。

❖ 実際に住んでみての印象は？

人の距離が近く感じました。

街で知った人に会うのが嬉しいです。町全体で実習生を守ってくれて安心感がありました。

❖ 趣味はなんですか？

音楽を聴くのが趣味です。洋楽、邦楽何でも聞きます。

中国語を4年間やっていて日常会話はできます。台湾の歌手が好きで中国語を勉強しました。

❖ 今後の目標は？

中国語を活用して台湾の人をエコテージに呼びたいと思います。



▲エコテージのキッチンにて

広報委員の一言

新緑の季節を迎え、冬の間鈍った体には少々きつい時期となりました。

4月に開催した議会報告会は議会基本条例施行後5回目になり、過去最高の出席者数を数え、多くの町民から多岐にわたる貴重なご意見をいただきました。

広報も、1号発行するにあたり3回以上の委員会を開催し誤字脱字、表現は適切か、見やすさ等あれこれ工夫しながら作成していますが、まだ未熟な部分もあることを委員が再認識しました。

今後も見やすくわかりやすい紙面作りを目指し、多くの町民の皆様にご覧いただき、ご理解を深めて頂ければ幸いです。

(浩幸)